

現地調査資料

現地調査のポイント

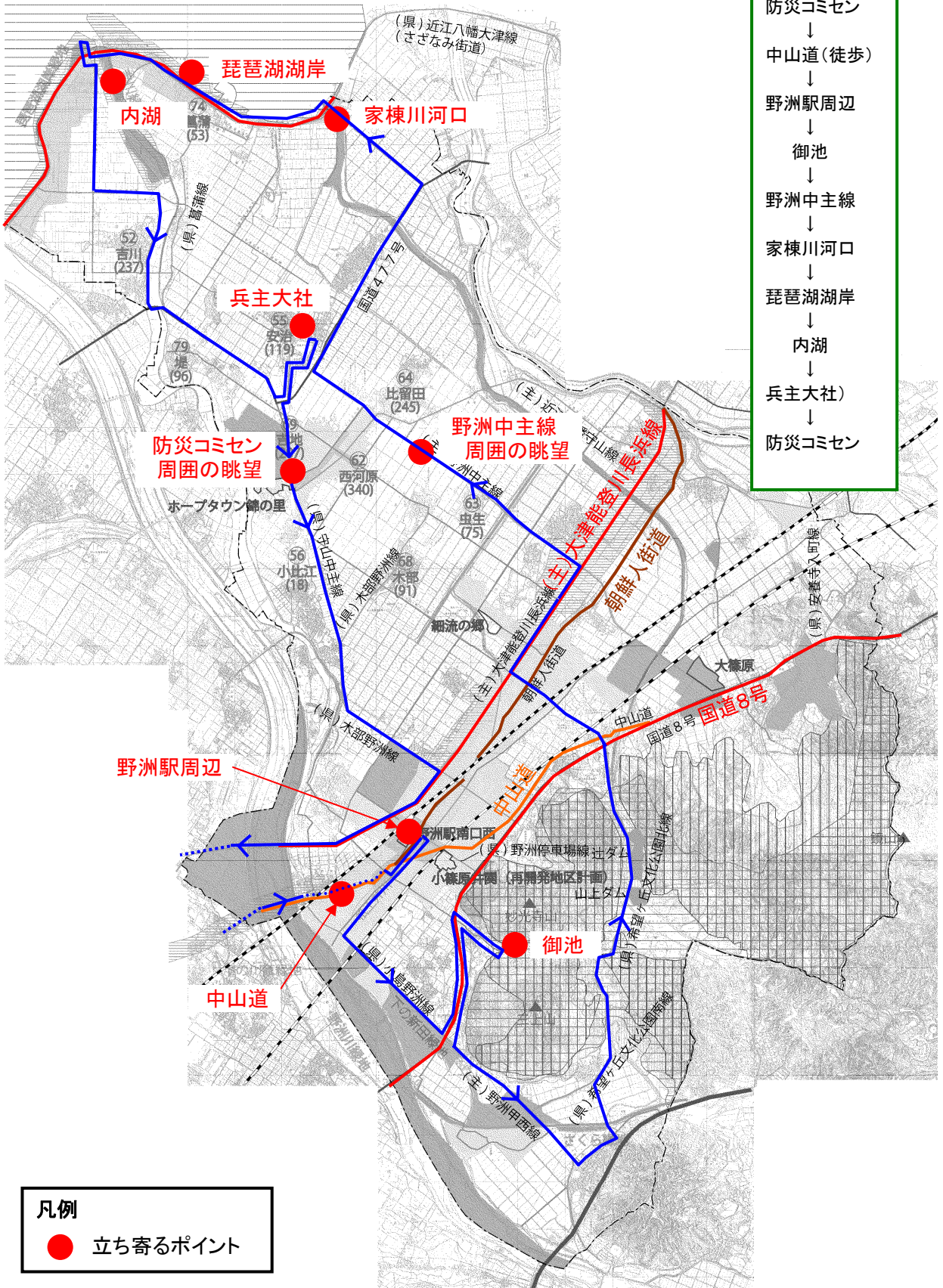
- ・ 景観は住民共通の資産といえます。そのため、より多くの人々が享受することができる景観ポイントを確認することとします。
- ・ 本市は、自然的景観（山地、ため池、河川、琵琶湖、田園、里山）、市街地景観（市街地部、集落部、幹線道路沿道、旧街道、文化財周辺）等によって構成されており、これらの代表的な景観と、市域全体の景観を確認することとします。
- ・ 本市のシンボル景観となる三上山や琵琶湖は、自然公園等で一定の保全がされていますので、これらを単体として確認するのではなく、周囲からの眺めを確認することとします。

そもそも「景観」とは？

- ◆ 景観は、地域の自然、歴史、文化等と人々の生活、経済活動等によって作られる、人の目に映る景色といえます。
- ◆ 自然のみといった単一の要素で構成された景色だけではなく、人々の生活など、複数の要素が調和することによって、良好な景観が形成されていきます。

メモに活用してください

現地調査予定ルート（所要時間 約3時間）



凡例
● 立ち寄るポイント

防災コミセン
↓
中山道(徒歩)
↓
野洲駅周辺
↓
御池
↓
野洲中主線
↓
家棟川河口
↓
琵琶湖湖岸
↓
内湖
↓
兵主大社)
↓
防災コミセン